活動報告書

内容：専門領域推進部　ウィメンズヘルス理学療法領域研修会
開催日：令和 5 年 11 月 11 日（土）10 時～16 時
開催地：山形県立保健医療大学　運動療法実習室
講師：及川　文宏　氏（一般社団法人日本アレルギーリハビリテーション協会　代表）
テーマ：自律神経に対する評価・介入～実技編～
参加人数：22 名（内訳：県内 22 名）

昨年度、女性の身体のみならず、日常の業務で出会うさまざまな疾患に対し、自律神経の評価や治療方法を学ぶことにより、明日から実践できる知識と技術を得ることを目的に、一般社団法人日本アレルギーリハビリテーション協会代表の及川文宏先生を講師に迎えてオンライン開催にて同テーマでの研修会を開催した。オンライン開催であったが、研修会終了後のアンケートより参加者の満足度も非常に高く、是非対面で実技も交えて研修会を開催したいという思いから、今年度も及川先生に講師を依頼し研修会を開催する運びとなった。

講師の及川先生より、自律神経の不調に気づくための評価ポイントや PT が介入すべきポイント、理学療法と自律神経を結びつけるエビデンス、自律神経バランスの 9 つの分類について詳しくご説明いただいた。また、自律神経の解剖生理学的な知識と共に、自律神経に問題のある人の身体的特徴と自律神経に対する身体的な徒手介入方法を実技も併せてご講義いただき、明日からでもすぐに実践できるような評価・介入方法を学ぶことができた。

お昼の休憩を挟み、90 分 3 コマの予定で開催した今回の研修会であったが、参加者からの質問も多く活発な講義となったこともあり、予定時間をやや過ぎての終了となった。昨年はオンライン形式での開催であったため、当領域の現在の部員では初めての対面開催の運営であったが、スタッフ一同協力しながら滞りなく終了することができた。

終了後に実施したアンケートは回答率 42%であり、研修会の内容は分かりやすかったと答えた方が 100%と非常に満足度の高い研修会であったことがわかった。受講後の感想としては、初めて学ぶことが多く大変勉強になった、また機会があれば参加したいという意見が多かった。講義時間の設定に関し、ちょうどよかったと回答した方が 77.8%、短いと回答した方が 22.8%と、講義の時間があっという間で後半時間が足りないくらいに感じた濃い研修会だったという意見もあった。運営に関しては、庄内からでも参加しやすい時間設定だったという意見もあった。

全体を通して、大きな滞りなく運営することができた。今後は、対面開催での研修会が増えてくることが予想されるため、今回のアンケート結果を元にこれからの運営に活かしていきたいと思う。

文責：済生会山形済生病院　押野真央